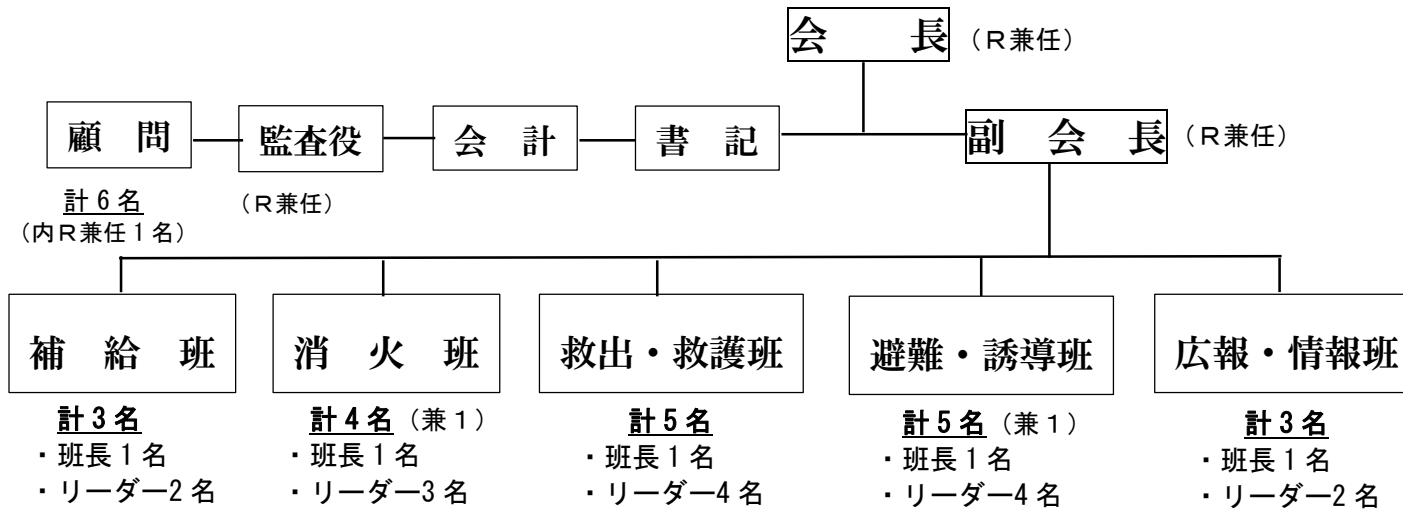




中津道自主防災会 (桜井市大福)



組織と体制



・総会 ・役員総数は30名

・リーダー会議
・班長会
・緊急会議・臨時防災会議

・リーダーは22名 (兼任含む)
・班長会構成は、会長、班長と防災士 (5名) 含む8名
・緊急連絡網は、リーダー間対象

*自治会の下部組織
自治会員 (住民) は防災会員

活動・行動

防災訓練等 中津道地区 防災意識向上

中津道 自主防災会 について

当自主防災会は、自治会の下部組織として発足 (H14年)。防災リーダーは22名 (内防災士5名) 自治会館を拠点として活動中 (会館前方の公園が緊急避難場所) です。当地区は、大和川水系寺川南方に広がる田園地帯に、昭和53年頃造成された団地です。桜井市西端に位置し、現在245世帯・557名が居住している簡素な住宅街です。過去に大災害の記録はない地域ですが、今後、南海トラフ巨大地震、付近の活断層の大地震による最大震度6～7が想定され、液状化の被害も予測されます。





活動内容

目的：地域住民の防災意識向上を図り、災害による被害防止及びその軽減に努める「活動と行動」を行う。

防災会活動 1

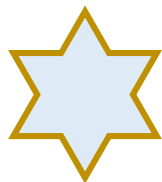
- ◎防災訓練（年1回）{総合訓練}
 - ・他LPG会社（独自防災訓練年1回）支援・協力
- ◎シェイクアウト {地震行動訓練}
- ◎マップ点検巡回（年2回）{補修と充実、避難路確認他}
- ◎緊急時及び避難情報等への対応
 - {緊急連絡網の確立と運用} & {緊急招集と対応}
- ◎防災倉庫保管品点検管理（年2回）
 - {町内設置消火器点検管理}
- ◎自治会行事・活動と諸運動等への支援・参加
- ◎空き地草刈り（年4回 2箇所）
 - {防犯・環境美化の観点}
- ◎年末見回り巡回（5日間）{防犯・火災予防}

防災会活動 2

- ◎リーダー会議（1回/月）{他班長会（1回/月）}
 - {情報収集・伝達&活動検討及びスポット研修}
- ◎情報紙 {自主防災会だより} 発行（毎月初め）
- ◎諸研修・講習会及び見学会等参加推進
 - {防災士：現在5名}
- ◎諸防災関連活動の計画・実施
- ◎啓発チラシ作成と回覧及び掲示（月2種類作成）
 - {防災会活動への理解・認識と防災意識向上促進}
- ◎NHKのWebサイト「防災マップを作ろう」登録
 - ・公開（2014年5月から）{防災マップ・随時活動を入力、他地区活動状況を参考・収集}



平成28年度「中津道防災訓練」
 《標語》：“あつ地震！そんな時どうする？”
 《テーマ》：“災害時の行動とその対応”
 中津道自主防災会



主な活動状況

防災会活動 1-1

◎防災訓練 (年1回) {総合訓練}

- ・受付 (安否確認)
- ・町内案内 (情報伝達)
- ・避難誘導訓練 (要援護者避難搬送)
- ・一時避難地設営訓練 (テント・シート設営)
- ・救出救護訓練 (AED・応急手当・簡易担架)
- ・スモッグマシン (煙ハウス避難体験)
- ・消火訓練 (水消火器・放水訓練)
- ・炊き出し訓練 (トン汁 試食)

○他LPG会社 (毎年春1回)

{独自防災訓練 連携・協力}

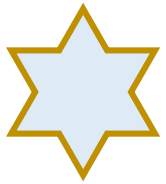
平成28年「中津道防災訓練」プログラム

*標 語「あつ地獄！そんな時どうする？」 *テーマ「災害時の行動とその対応」

＜受 付＞	期 間	本 部	9時45分～
□訓練開始挨拶 (宣言)		和幸会長	10時00分～
一、中津道シェイクアウト(1分間)		広報啓発班	
		*サイレンと呼びかけにより一斉に行動 (訓練参加者 全員)	
□訓練講習開始			
一、一時避難地設営訓練 (シート)		救出救護班・消火班	10時10分～
		*防災 (メス) 情報	広報啓発班
		*防災用具の取り扱い (3段階) と災害時災害百選 (西) 等各賞	
一、避難誘導訓練		救出救護班・避難誘導班	
		*要援護者、負傷者避難搬送・丁口確保	
一、発生時の避難訓練		桜井消防署	10時30分～
		*スモッグマシン使用 (密閉型)	
一、救出救護訓練・応急手当		桜井消防署	10時45分～
		*応急手当・救護金と(密閉型)	
		*救出救護訓練 (担架等)	
一、消火訓練		桜井消防署	11時10分～
		*消火器操作、水消火器 (希命者)、放水訓練等	
□訓練感想と連絡事項 (中心会・ホウメ)		桜井市危機管理課	11時35分～
□訓練の振り返り		白粉会 和幸会長	
＜試食会場へ移動 (自治会館前)＞			
□炊き出し訓練 (トン汁) 試食		補助班	11時50分～
		*この機会に、防災展示板、防災関連用品等の展示展示をご覧ください。	
＜試食 終了後＞		自由散会	～12時30分
		"本日のご参加有難うございました"	

中津道自主防災会





主な活動状況

防災会活動 1-2

◎**防災訓練** (年1回) {総合訓練}

◎**シェイクアウト** {地震行動訓練}

◎**防災関連情報の説明**

{防災気象情報・緊急地震速報及び
避難情報・安否確認 (伝言ダイヤル)}

◎**防災用品&関連情報資料の展示・掲示**

{転倒防止 (例) & 非常持ち出し品 (救急袋)
・啓発チラシ・情報紙・防災マップ
・防災活動・研修資料等}

中津道シェイクアウト!

~一つしかない「命」を守り、生きぬく為の行動訓練です~

中津道いっせい地震行動訓練!

皆さん地震です!サイレンの合図で、自分の身を守る為に、その場で1分間の安全確保行動を取って下さい!

1

まずひくく
DROP!

2

あたまをまもり
COVER!

3

うごかない
HOLD ON!

中津道自主防災会



「防災気象情報 (速報・注意報・警報)」の 適切活用で (災害の防止・軽減) に役立てを!

特別警報: 7種類 ■警報: 8種類 ■注意報: 16種類
警報・注意報は、市町村ごとに発表されます (地域毎もある)

緊急地震速報

地震による強い揺れを事前に知らせる

◆緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありません

地震の揺れを感じたら、あわてず、まず身の安全を!!

まわりの人にも声をかけながら...



家具転倒防止例 (見本)

台所の食器棚を中心に基本的な取付しました。転倒防止の参考事例です

- 耐震ボール (2本 35cm-50cm) <耐圧200kg>
- 感知式引き戸飛び出し防止 (2重上部) <戸開き4等>
- 開き戸ロック (スタンダード)
- 開き戸・引き出しロック (マルチタイプ)
- 耐震マット (見本展示 2種類) <敷板 滑走>
- 転倒防止安定板 (たおれんぞう 9.0cm) <家具のト等>
- ガラス飛散防止フィルム (1枚貼付) <UVカット99%>

*貼付時空気だまり多発発生 (エア吹き) 要注意。
*本棚上部 (2階階) L型ビス止め転倒防止済み

災害は「いつ? どこで? 起こるか!」想定できません。

避難情報 (3段階) について

避難準備情報・避難勧告・避難指示が発表されます。

- 避難準備情報** ▶ 高齢者、障害者など避難行動に時間を要する者は、計画された避難場所への避難行動を開始し、それ以外の者は避難の準備。
- 避難勧告** ▶ 通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階。計画された避難場所等への避難行動を開始。
- 避難指示** ▶ 避難中の者は確実に避難を完了。未だ避難していない対象者は、直ちに避難行動に移る。

避難は徒歩で

避難に時間を要する対象者の避難行動を始めるときは、家族が目で見て、気域住民のみなさんと目合わせて確認しましょう。

防災時の安否確認について

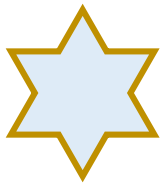
災害用伝言ダイヤル (171) を活用しましょう!

携帯電話やパソコンからインターネットに接続し、災害用伝言ダイヤルを利用する方法があります。

【171】にダイヤル

※伝言ダイヤルは、電話の通話料がかかります。

※パソコンから伝言ダイヤル (171) にダイヤルすると、インターネット (Web 171) <https://www.web171.jp>



主な活動状況

防災会活動 1-3

- ◎ **マップ点検巡回** (年2回)
{ 随時補修と充実、避難路確認他 }
- ◎ **緊急時及び避難情報等への対応**
{ 緊急連絡網の確立と運用 } & { 緊急招集と対応 }
- ◎ **防災倉庫保管品点検管理** (年2回)
{ 町内設置消火器点検管理 }



中津道地区消火器点検表

番	品名	規格	数量	検査日	検査者	検査結果
1	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
2	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
3	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
4	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
5	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
6	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
7	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
8	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
9	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
10	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
11	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
12	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
13	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
14	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
15	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
16	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
17	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
18	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
19	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
20	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
21	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
22	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
23	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
24	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
25	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
26	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
27	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
28	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
29	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
30	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
31	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
32	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
33	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
34	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
35	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
36	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
37	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
38	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
39	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
40	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
41	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
42	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
43	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
44	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
45	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
46	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
47	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
48	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
49	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	
50	消火器	MF20	1	2023.07.11	〇	



中津道の皆様へ

中津道自主防災会

7月11日(月) 10時30分~11分(サイレンが鳴ります)
いっせいに**地震行動訓練(ナラ・シェイクアウト)**を実施!
現在の居場所、行動を! ご協力をお願いします。
*地震発生を想定して、1分間身を守る行動を行います。



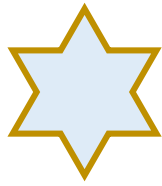
DROP!
姿勢を低く!



COVER!
体・頭を
守って!



HOLD ON!
揺れが収まる
までじっとして!



主な活動状況

防災会活動 2-1

- ◎リーダー会議（1回/月）＜他班長会（1回/月）＞
 {情報収集・伝達&活動検討
 及びスポット研修}
- ◎情報紙 {自主防災会だより} 発行（毎月初め）
- ◎啓発チラシ作成と回覧及び掲示（月2種類作成）
 {防災会活動への理解・認識と防災意識向上促進}

あっ!地震だ! こんな時 どうする!?

地震発生 ●揺れ 揺れ強弱程度、余震頻度 ●発生後、状況確認により避難指示

自助 ●自助避難 ●自助避難時の安全確保 ●正しい手順に基づき行動 ●避難時 電気ブレーカー、ガス栓を閉める ●非常持ち出し品を持っていく ●そして、可能であれば近所に声掛け ●近隣の近づくタイミングに注意 ●地震の防災意識向上を図る ●啓発物資活動 (防災パンフレット、防災グッズ、避難地図等) ●防災会緊急連絡網により、会集場所 (防災センター、防災会館) ●防災会緊急連絡網の維持管理 ●避難訓練 (防災訓練)

互助 ●互助避難 ●互助避難時の安全確保 ●互助避難時の誘導 ●互助避難時の支援 ●互助避難時の応急処置 ●互助避難時の情報収集 ●互助避難時の連絡

公助 ●公助避難 ●公助避難時の安全確保 ●公助避難時の誘導 ●公助避難時の支援 ●公助避難時の応急処置 ●公助避難時の情報収集 ●公助避難時の連絡

中津道 自主防災会



地震が起こる前に 地震を知ろう!

地震による激しい揺れを事前にお知らせする緊急地震速報

あわてず、まず身の安全を!!

緊急地震速報の仕組み

地震発生時の行動

家族では

鉄道・バスでは

自動車運転中は

この他にも、近隣の近づくタイミングに注意

地震に 備える

地震発生時の行動

家族では

鉄道・バスでは

自動車運転中は

こんな時 どうする!?

地震 地震に 備える

できる 地震への 備え

家族で 話し合おう

自助避難

互助避難

公助避難

中津道 自主防災会

No.40 2016/10

中津道 自主防災会だより

※注意報・警報

桜井市域に避難準備情報

※お知らせ

10月16日に中津道防災訓練を実施します

日時: 2016年10月16日(日)10時(公園開園後)~12時半

会場: 中津道公園(雨天: 自治会館で実施)

防災メモの添付

地震の発生、地震時間の対応について参考となる資料を添付します。今は家具の固定法、家具の取外、火災に備えます。

また訓練を行う際のおもてなし係や観覧係などの役割が重要です。皆さんの協力が期待されています。しっかり準備を整えて参りましょう。(この日は日曜日と同じです。)

No.39 2016/9/7

だより

実施します

中津道 自主防災会

防災会だより

中津道自主防災会「スポット研修」 第一回 H26.9.10

ロープの結び方

1. もやい結び

☆結び方 (例1)

☆結び方 (例2)

☆結び方 (例3)

ロープの結び方

1. まずロープに小さな輪(ループ)を作る

2. つくったループに、ロープの端(端緒)を通す

3. 端緒を、ロープの固定環の下を、くぐらせる

4. 端緒のループに、端緒をスタップと逆方向に通す

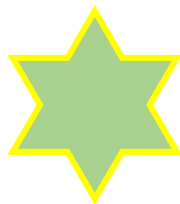
☆結び方 (例3)

1. 端緒をループに通す

2. 端緒の下の下に、両側に通す

3. 端緒の大きさに注意しながらいきよけ、端緒を引いて締める

4. 端緒をループに通す



活動内容S

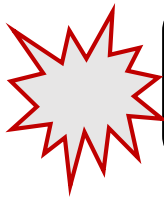
目的：地道な活動を通じて、自主防災会活動への理解と認識向上を図り、住民の防災への関心をより高める

特徴的な活動

- ◇NHKのWebサイト「防災マップを作ろう」登録・公開 (H24.5～)
 - {防災マップ・随時活動内容入力、他地区活動状況を参考・収集}
 - * 損保協会からのマップ作成・学童コンクール参加 (H26.8頃)
 - * 某大学と福祉・防災マップについてのインタビュー懇談 (H28.10.8)
- ◇リーダー用カードケース作製・全員配布 (携帯用)
 - {緊急連絡網・防災マップ他参考資料等 他随時}
- ◇町内空き地の草刈り (年2回 2箇所) {防犯・環境美化の観点}
- ◇年末見回り巡回 (年末5日間) {火災予防・防犯}



This block contains two main documents. On the left is a "緊急連絡網" (Emergency Contact Network) chart for the Nakatsu Michi Self-Defense Fire Association. It lists members and their contact information, organized into a hierarchical structure. On the right is a "平成28年度(2016年)活動スケジュール表(案)" (Activity Schedule Table for Heisei 28 (2016)). This is a calendar-style table showing planned activities for each month from October to April, with columns for the month and year, and rows for specific activities.



課題と目標

“いざ”という時の為に、住民とより協力・連携した行動が取れるよう、更なる啓発活動と訓練等が重要。

★地域防災に、一層の貢献を目指す。

- ・防災リーダーの、より一層のスキルアップ（体験）を図る。＜自己啓発促進と諸講習会への参加等＞

★想定されている南海トラフ巨大地震・奈良盆地東縁断層帯地震に備える

- ・想定外の災害被害が、各地で発生している昨今の状況を直視して・・・。
- ・自主防災会として、可能な範囲での検討と準備が必要→「何を？どのように？」

★緊急事項及び避難情報等に対する対処方法の検討とその訓練が必要。

- ・緊急連絡網の充実、近隣地区との連携、緊急招集時の行動等の訓練、
- ・安否確認・要援護者の避難誘導及び避難所（緊急避難場所）の対応等の訓練

★高齢化社会が進む中、平素から住民相互が“顔の見える関係”をつくり、

“いざ”災害時に“互助精神”（共助）が発揮できるように、防災会としては、日頃から協力して連携した「活動と行動」が重要である→「その活動とその内容（協力 連携）？」

- ・平素から“一声をかけよう・挨拶をしよう”そして住民相互の”絆”が大切とされている。
- ・自治会初め及び町内諸団体（会・クラブ等）と連携した「活動・行動」が、より必要である。